

処方項目に含まれる用法情報を、IMedicationAdministration インターフェースとして取得する。詳細は〇〇〇節用法情報参照。

#### 1.7.5. 治験薬サイン

##### ■定義

処方項目に含まれる薬剤が治験の対象となる薬剤かどうかを、オーダー時に医師が指定する。入院メッセージのみ。外来メッセージでは使用しない。

##### ■現行対応項目:

- 治験薬サイン (ORDERYAK\_20)

##### ■インターフェース

**bool IPrescriptionItem.CoveredByClinicalTrial [get;]**

処方項目に含まれる薬剤が治験の対象となる薬剤かどうかを示す Bool 値を取得する。

#### 1.7.6. 自費購入薬サイン

##### ■定義

処方項目に含まれる薬剤が保険の対象とならない自費購入薬かどうかを、オーダー時に医師が指定する。入院メッセージのみ。外来メッセージでは使用しない。

##### ■現行対応項目:

- 治験薬サイン (ORDERYAK\_)

##### ■インターフェース

**bool IPrescriptionItem.ChargesToPatient [get;]**

処方項目に含まれる薬剤が自費購入薬かどうかを示す Bool 値を取得する。

## 1.8. 薬剤情報

処方項目に含まれる、薬剤に関する情報。

### 1.8.1. 薬品名称

#### ■定義

薬品の名称。

#### ■現行対応項目:

- 薬品名称漢字 (ORDERYAK\_11)

#### ■インターフェース

```
string IMedicationDrug.CommercialName [get;]
```

薬品の商品名を取得する。値がない場合には null を返す。

```
string IMedicationDrug.AliasNameForHospital [get;]
```

薬品の院内薬品名を取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.8.2. 薬品コード

#### ■定義

薬品コード。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.ClinicalDrugCode  
を使用する。CE 型。

#### ■現行対応項目:

- 薬品コード (ORDERYAK\_10)

#### ■インターフェース

```
object IMedicationDrug.Code [get;]
```

薬品コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.ClinicalDrugCode で定義されたコード値  
で、実際の型は CE 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugCode.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugCode.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool ClinicalDrugCode.Singleton.<Get property for a specific  
code>.Equals(object);
```

を使用する。

### 1.8.3. 単位情報

#### ■定義

薬品の単位コードを取得する。薬価単位と力価単位の 2 種類あり、薬価単位は、薬価計算で使用される単位で、注射以外の薬剤のオーダー時に使用する。力価単位は、力価を明示するとき使用される単位で、注射オーダーは力価単位を使用する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.UnifiedCodeForUnitOfMeasure  
を使用する。CS 型。

#### ■現行対応項目:

- 単位区分 (ORDERYAK\_13)
- 単位コード (ORDERYAK\_14)

#### ■インターフェース

```
object IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice {get;}
```

薬品の薬価単位コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.UnifiedCodeForUnitOfMeasure で定義されたコード値で、実際の型は CS 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string  
UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.<Get property for a
```

```
specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

```
object IMedicationDrug.UnitCodeForStrength [get;]
```

薬品の力価単位コードを object として取得する。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.UnifiedCodeForUnitOfMeasure` で定義されたコード値で、実際の型は CS 型である。

## 1.9. 薬剤払い出し情報

薬剤の払い出し情報。薬局に対する指示を含む。

### 1.9.1. 払い出し日

#### ■定義

薬剤の払い出し日。外来の場合は通常処方日と同じ。入院の場合は、診療科毎に定められた日。

#### ■現行対応項目:

- 対応項目なし。

#### ■インターフェース

**DateTime IMedicationSupply.Date [get;]**

薬品の払い出し日を取得する。値がない場合には `new DateTime()` を返す。

### 1.9.2. 払い出し総量

#### ■定義

薬剤の払い出し総量。単位は、`IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice` で指定される単位を使用する。(→正しいか? 明示的に単位も設定できるようにすべきか?) 必須属性で省略できないため、明示的に `Null` インスタンスを指定したい場合には `double.NaN` を使う。  
(HL7 必須属性)

#### ■現行対応項目:

- 処方数量(全量) (`ORDERYAK_12`)。

#### ■インターフェース

**double IMedicationSupply.TotalDrugQuantity [get;]**

薬品の払い出し総量を取得する。値がない場合には `new double()` を返す。明示的に `Null` 値を指定する場合には `double.NaN` を返す。

### 1.9.3. 払い出し指示コメント

#### ■定義

処方箋内のある特定の薬剤の払い出しに対する薬局向けコメント。

#### ■現行対応項目:

- 指示種別 (ORDERSIJ\_6) (薬局)
- 指示コメント (ORDERSIJ\_8)

#### ■インターフェース

```
string IMedicationSupply.Instruction [get;]
```

特定の薬剤のための薬局向け指示コメントを取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.9.4. 粉砕指示

#### ■定義

薬を提供するときに粉砕するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無し  
の2種類の値をとるコード化値として表現される。

#### ■現行対応項目:

- 粉砕サイン (ORDERYAK\_27)

#### ■インターフェース

```
bool IMedicationSupply.HasCrushInstruction [get;]
```

粉砕指示の有無を示す Bool 値を取得する。

### 1.9.5. 分割指示

#### ■定義

薬を提供するときに分割するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無し  
の2種類の値をとるコード化値として表現される。

#### ■現行対応項目:

- 粉砕サイン (ORDERYAK\_27)

#### ■インターフェース

```
bool IMedicationSupply.HasBreakInstruction [get;]
```

分割指示の有無を示す Bool 値を取得する。

### 1.9.6. 混合指示

#### ■定義

薬を提供するときに混合するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無しの2種類の値をとるコード化値として表現される。現行ではRp単位の指示であるが、薬剤単位で指示を指定する。

#### ■現行対応項目:

- Mix 指示 (ORDERYOH\_28)

#### ■インターフェース

```
bool IMedicationSupply.HasMixInstruction [get;]
```

混合指示の有無を示す Bool 値を取得する。

### 1.9.7. 経管チューブ指示

#### ■定義

薬を提供するときに経管チューブと一緒に提供するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無しの2種類の値をとるコード化値として表現される。現行ではRp単位の指示であるが、薬剤単位で指示を指定する。

#### ■現行対応項目:

- Mix 指示 (ORDERYOH\_28)

#### ■インターフェース

```
bool IMedicationSupply.HasFeedingTubeInstruction [get;]
```

経管チューブ指示の有無を示す Bool 値を取得する。

## 1.10. 用法情報

薬剤の用法に関する情報。服用期間や処方数量、用法コード等を含む。

### 1.10.1. 服用期間

#### ■定義

薬剤の服用期間。現行では処方箋単位で服用開始日を持つが、HL7 メッセージでは、用法毎に服用開始日を指定する。用法区分が内服定時または内服不均等の場合、服用終了日も指定する。それ以外の用法区分の場合には、服用終了日は指定できないため、new DateTime()を指定する。

#### ■現行対応項目:

- 服用開始日 (ORDERCTL\_28)
- 処方変更服用開始日 (ORDERYOH\_24)
- 処方変更服用中止日 (ORDERYOH\_25)

#### ■インターフェース

**DateTime IMedicationAdministration.StartDate [get;]**

薬品の服用開始日を取得する。値がない場合には new DateTime()を返す。

**DateTime IMedicationAdministration.EndDate [get;]**

薬品の服用終了日を取得する。値がない場合には new DateTime()を返す。

### 1.10.2. 服用日数

#### ■定義

薬剤の服用日数。用法区分が内服定時または内服不均等の場合の、隔日指示も考慮した実質の服用日数。それ以外の用法区分の場合には、服用日数は指定しない(負数を指定)。服用期間と服用日数との整合性は、インターフェースを利用するアプリケーションの責務であり、HL7 メッセージは、インターフェースで指定された服用期間と服用日数の値をそのまま利用する。

#### ■現行対応項目:

- 処方日数または回数 (ORDERYOH\_12)



## ■インターフェース

**int IMedicationAdministration.DoseDays {get;}**

用法区分が内服定時、または内服不均等の場合に、薬品の服用日数を取得する。それ以外の用法区分の場合は、-1を返す。

### 1.10.3. 処方数量 (1 日量)

#### ■定義

薬剤の1日の処方数量。単位は、IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPriceで指定される単位コード(薬価)。用法区分が内服定時または内服不均等の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には指定しない(new double()を指定)。処方数量(1日量)と処方数量(1回量)、および処方数量(1日分の1回量の配列)との整合性は、インターフェースを利用するアプリケーションの責務であり、HL7メッセージは、インターフェースで指定された値をそのまま利用する。

#### ■現行対応項目:

- 処方数量 (ORDERYAK\_12)

## ■インターフェース

**double IMedicationAdministration.DailyDrugQuantity {get;}**

用法区分が内服定時、または内服不均等の場合に、薬品の1日の処方数量を取得する。値がない場合(内服定時、内服不均等以外の用法区分の場合)は、new double()を返す。Nullインスタンスの場合はdouble.NaNを返す。

### 1.10.4. 処方数量 (1 回量)

#### ■定義

薬剤の1回の処方数量。単位は、IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPriceで指定される単位コード(薬価)。用法区分が内服定時または内服頓用の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には指定しない(new double()を指定)。メッセージ作成時、内服定時の場合はDailyUnitDrugQuantitiesの値が使用されるため、このインターフェースで指定した値は使用されない。Nullインスタンスの場合はdouble.NaNを指定する。

#### ■現行対応項目:

- 処方数量 (ORDERYAK\_12)

#### ■インターフェース

`double IMedicationAdministration.UnitDrugQuantity [get;]`

用法区分が内服定時、または内服頓用の場合に、薬品の1回の処方数量を取得する。値がない場合（内服定時、内服頓用以外の用法区分の場合）は、`new double()`返す。Nullインスタンスの場合は`double.NaN`を指定する。

### 1.10.5. 処方数量（1日分の1回量の配列）

#### ■定義

薬剤の1日分の1回処方数量の配列。単位は、`IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice`で指定される単位コード(薬価)。用法区分が内服定時、内服不均等の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には指定しない(空の配列を指定)。

#### ■現行対応項目:

- 処方数量 (ORDERYAK\_12)
- 不均等投与 1~10 (ORDERYOH\_13-22)

#### ■インターフェース

`Double [] IMedicationAdministration.DailyUnitDrugQuantities [get;]`

用法区分が内服不均等の場合に、薬品の1日分の1回の処方数量の配列を取得する。値がない場合（内服不均等以外の用法区分の場合）は空の配列を返す。

### 1.10.6. 1日の服用回数（1日分量）

#### ■定義

薬剤の1日の服用回数。用法区分が内服定時または内服不均等の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には0を指定。メッセージ作成時には使用されない。

#### ■現行対応項目:

- 1日分量 (ORDERYOH\_9)

#### ■インターフェース

`int IMedicationAdministration.NumberOfDoseInADay [get;]` (メッセージ作成時実装不要)

用法区分が内服定時、または内服不均等の場合に、薬品の1日の服用回数を取得する。そ

れ以外の用法区分の場合は 0 を返す。

#### 1.10.7. 投薬経路

##### ■定義

投薬経路を表現する投薬経路コード。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.RouteOfAdministration`  
を使用する。CE 型。

##### ■現行対応項目:

- 対応なし。

##### ■インターフェース

```
object IMedicationAdministration.RouteCode [get;]
```

投薬経路コードを object として取得する。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.RouteOfAdministration` で定義されたコード値で、実際の型は CE 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string RouteOfAdministration.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string RouteOfAdministration.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool RouteOfAdministration.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

```
string IMedicationAdministration.RouteCodeText [get;]
```

投薬経路コードのオリジナルテキストを取得する。値がない場合は null を返す。

検討。必要か？

#### 1.10.8. 用法区分コード

##### ■定義

用法の種別を表現する用法区分コード。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.PrescriptionProductUsageType  
を使用する。CD 型。

■現行対応項目:

- 用法区分 (ORDERYOH\_6)

■インターフェース

**object IMedicationAdministration.UsageType [get;]**

用法区分コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.PrescriptionProductUsageType で定義されたコード値で、実際の型は CD 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugUsageType.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugUsageType.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool ClinicalDrugUsageType.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

### 1.10.9. 用法コード

■定義

用法コード。最大 2 つまで指定可能。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.PrescriptionProductUsageType  
を使用する。CD 型。

■現行対応項目:

- コード 1 (ORDERYOH\_7)
- コード 2 (ORDERYOH\_8)

■インターフェース

**object [] IMedicationAdministration.ArrayOfUsageCode [get;]**

用法区分コードを object の配列として取得する。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.PrescriptionProductUsageType` で定義されたコード値で、実際の型は CD 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugUsageCode.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugUsageCode.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool ClinicalDrugUsageCode.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

#### 1.10.10. 用法名称

##### ■定義

指定された用法コードから作成される用法名称。

##### ■現行対応項目:

- 用法名称 (ORDERYOH\_10)

##### ■インターフェース

```
string IMedicationAdministration.UsageName [get;]
```

用法名称を取得する。値がない場合には null を返す。

#### 1.10.11. 服用開始区分

##### ■定義

入院処方オーダーにおいて、服用開始時間帯（朝、昼、夜）を指定するためのコード。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.AdministrationStartTimingCode` を使用する。CD 型。入院メッセージのみ。外来メッセージには使用しない。

##### ■現行対応項目:

- 服用開始区分 (ORDERCTL\_36)

## ■インターフェース

**object IMedicationAdministration.StartTimingCode [get;]**

服用開始区分コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.AdministrationStartTimingCode で定義されたコード値で、実際の型は CD 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string AdministrationStartTimingCode.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string
```

```
AdministrationStartTimingCode.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool AdministrationStartTimingCode.Singleton.<Get property for a  
specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

### 1.10.12. 隔日指示コード

#### ■定義

服用間隔を表す隔日指示を指定するためのコード。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.AdministrationRepeatPattern

を使用する。CD 型。特に指示がない場合は、「毎日」を示すコードを指定する。

#### ■現行対応項目:

- 隔日指示 (ORDERYOH\_29)

## ■インターフェース

**object IMedicationAdministration.RepeatPatternCode [get;]**

隔日指示コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.AdministrationRepeatPattern で定義されたコード値で、実際の型は CD 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string AdministrationRepeatPattern.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string  
AdministrationRepeatPattern.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool AdministrationRepeatPattern.Singleton.<Get property for a  
specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

### 1.10.13. 用法指示コメント

#### ■定義

処方箋内のある特定の用法に対する患者向けコメント。

#### ■現行対応項目:

- 指示種別 (ORDERSIJ\_6) (患者)
- 指示コメント (ORDERSIJ\_8)

#### ■インターフェース

```
string IMedicationAdministration.Instruction [get;]
```

特定の用法のための患者向け指示コメントを取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.10.14. 服用指示コメント (指導コメント)

#### ■定義

ユヤマが薬袋に投薬・服用指示を印字する際に使用するコード。

#### ■現行対応項目:

- 新規追加

#### ■インターフェース

```
object[] IMedicationAdministration.ArrayOfInstructionCode [get;]
```

服用指示コメント (指導コメント) を取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.10.15. 警告情報

#### ■定義

警告に関する情報。詳細は、〇〇〇節の警告情報参照。

#### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

```
int IMedicationAdministration.AlertCount [get;]
```

警報数を取得する。

```
IAAlert IMedicationAdministration.AlertAt(int i)
```

警告情報を、IAAlert インターフェースとして取得する。対応する警告情報が存在しない場合には null を返す。



## 1.11. 警告情報

警告に関する情報。

### 1.11.1. 警告コード

#### ■定義

禁忌などのオーダー時の警告を表すコード。HL7 で決められたコードを使用する警告分類コードと、ローカルで定義されたコードを使用可能な警告詳細コードが在る。

警告分類コードは、

ValueSet: Nori.HL7.VocabularyDomains.ActCode  
(ActSuppliedItemDetectedIssueCode)

を使用する。CS 型。

警告詳細コードは、

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.AdministrationDetectedIssueDetailCode  
を使用する。CE 型。

#### ■現行対応項目:

- 警告コード (ORDERYAK\_22)

#### ■インターフェース

```
object IAlert.Code [get;]
```

警告分類コードを object として取得する。

ValueSet: Nori.HL7.VocabularyDomains.ActCode で定義されたコード値で、実際の型は CS 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string ActCode.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string ActCode.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool ActCode.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

`object IAlert. DetailCode {get;}`

警告詳細コードを `object` として取得する。

`ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.AdministrationDetectedIssueDetailCode` で定義されたコード値で、実際の型は `CE` 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

`string`

`AdministrationDetectedIssueDetailCode.Singleton.ToString(object);`

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

`string`

`AdministrationDetectedIssueDetailCode.Singleton.DisplayNameOf(object);`

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

`bool AdministrationDetectedIssueDetailCode.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);`

を使用する。

## 1.12. 健康保険情報

### 1.12.1. 保険 ID

#### ■定義

健康保険情報を一意に識別するコード。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.InsuranceCode`  
を使用する。CD 型。

保険 ID と法制コードは、ひとつのコード体系で表現されることに注意。

#### ■現行対応項目:

- 保険 ID (INSURANCE\_4)
- 法制区分 (INSURANCE\_5)

#### ■インターフェース

`object IInsurance.Code [get;]`

保険 ID (コード) を object として取得する。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.InsuranceCode` で定義されたコード値で、実際の型は CD 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string InsuranceCode.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string InsuranceCode.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool InsuranceCode.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

#### ■HL7 マッピング(参考)

`OrderSetHeader.pertainsTo.PolicyOrAccount` の code 属性。

XPath: `OrderSetHeader/pertainsTo/policyOrAccount/code`

### 1.12.2. 有効期限

#### ■定義

健康保険の有効期限。

#### ■現行対応項目:

- 有効期限（新規追加）

#### ■インターフェース

**DateTime IInsurance.IssuedDate [get;]**

健康保険の有効期限の開始年月日日(発行日)を返す。ない場合は new DateTime()を返す。

**DateTime IInsurance.ExpirationDate [get;]**

健康保険の有効期限の終了年月日を返す。ない場合は new DateTime()を返す。

### 1.12.3. 被保険者記号・番号

#### ■定義

健康保険の被保険者記号・番号。

#### ■現行対応項目:

- 被保険者記号（新規追加）
- 被保険者番号（新規追加）

#### ■インターフェース

**string IInsurance.InsuredPersonSymbol [get;]** (HL7 必須属性)

健康保険の被保険者記号を取得する。ない場合は null を返す。

**string IInsurance.InsuredPersonNumber [get;]** (HL7 必須属性)

健康保険の被保険者番号を取得する。ない場合は null を返す。

**string IInsurance.InsuredPersonRootUid [get;]** (HL7 必須属性)

健康保険の被保険者記号・番号の(RootUID)を取得する。RootUId を持たない場合には null を返す。